

令和4（2022）年10月27日

大阪経済記者クラブ会員各位

（同時資料提供先：大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ）

大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」の リボンチャレンジ（※）公表について ～出展をめざす大阪の中小企業・スタートアップを発掘・支援します！～

（※）リボンチャレンジとは、出展をめざす中小企業・スタートアップを支援する事業企画のこと

【お問合せ】大阪商工会議所 地域振興部 万博協力推進室（恵、西田、玉川）

TEL：06-6944-6323

公益財団法人大阪産業局 万博共創ビジネス推進部（稲生、木村、瀬川）

TEL：06-6947-4365

- 大阪・関西万博に2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会（会長＝吉村洋文・大阪府知事）が出展する大阪ヘルスケアパビリオンの「展示・出展ゾーン」の企画・運営を担うために大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局が共同設置している「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」（委員長＝立野純三・公益財団法人大阪産業局理事長／大阪商工会議所副会頭）は、同ゾーンにおける中小企業・スタートアップを支援する事業企画26件を「リボンチャレンジ」に認定しました。
- 大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」は、多くの中小企業・スタートアップが出展できるように、毎週、展示企業を入れ替える形で運営する予定です。
- 各リボンチャレンジ実施主体において、中小企業・スタートアップの募集を年明け（令和5（2023）年1月）以降、順次開始する予定です。出展を希望する中小企業・スタートアップにはこれに応募し、リボンチャレンジ実施主体からの支援を受けながら、同ゾーンへの参加をめざしていただきます。
- 大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」では、優れた中小企業・スタートアップを発掘・支援し、その象徴的な成果、活躍を効果的に発信できるよう、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた取り組みを企画・推進します。

※リボンチャレンジのスキーム



- 本募集は5月9日から8月31日まで実施し、18企業・団体から30件の提案が寄せられました。提案のあった事業企画案は外部有識者等3名からなるリボンチャレンジ審査会（審査員長＝皆川 健多郎・大阪工業大学教授）による書面審査とヒアリング（一部提案のみ）を経て、14企業・団体から提案のあった26件が選出され、中小・スタートアップ出展企画推進委員会が「リボンチャレンジ」に認定しました。
- 今後、各リボンチャレンジでの準備が整い次第、年明け（令和5（2023）年1月）以降、順次、中小企業・スタートアップの募集を開始する予定です。詳細は決定次第、2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会（大阪府・大阪市万博推進局）、中小・スタートアップ出展企画推進委員会（公益財団法人大阪産業局）、大阪商工会議所、リボンチャレンジ実施主体等のホームページ、機関紙などを通じて、広く周知していきます。

【大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」の事業企画案募集の概要】

<事業企画案募集概要>

主催：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会

企画・運営：中小・スタートアップ出展企画推進委員会

- ◆募集期間：令和4（2022）年5月9日～8月31日
- ◆募集対象：原則、大阪府内に活動拠点を有し、中小企業・スタートアップの支援が実施可能な金融機関または公的な企業・団体
- ◆募集内容：地元資源・リソースを未来へとつなげ、SDGsの取り組みや大阪の強力な魅力発信を目的として大阪パビリオンへの参加をめざす優れた中小企業・スタートアップを支援する事業企画案を募集。

※応募のあった事業企画案は、審査のうえ「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」が「リボーンチャレンジ」として認定。

<認定までのスケジュール>

令和4（2022）年

5月 9日～8月31日	「展示・出展ゾーン」事業企画案の募集
9月12日～ 26日	審査員による書面審査
10月 5日	リボーンチャレンジ審査会開催 (審査員によるヒアリング（一部提案のみ）、最終選考)
10月12日	中小・スタートアップ出展企画推進委員会総会開催 リボーンチャレンジ認定
10月27日	リボーンチャレンジ公表

<リボーンチャレンジ審査会 審査員名簿> ※印は審査員長 (敬称略・氏名五十音順)

氏名	所属・役職
後藤 克己	2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会事務局長 (大阪府・大阪市万博推進局理事)
樋口 光生	独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部企業支援部長
※ 皆川 健多郎	大阪工業大学教授

以上

<添付資料>

- ・資料1_リボーンチャレンジ認定事業一覧 (26件)
- ・資料2_大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」の概要

リボンチャレンジ認定事業一覧（26件）

リボンチャレンジ名称
①事業実施主体名 ※【】内は共同企業体名
②事業テーマ（REBORN・ヘルスケア・SDGs・デジタル・ライフスタイル・環境・その他の中から3つまで選択）
③事業概要

（リボンチャレンジ名称 五十音順）

Academia×REBORN ～学理と実際との調和～
①関西大学
②SDGs・デジタル・環境
③136年の歴史を有する大阪に根差した総合大学である「関西大学」が、大阪が持つ多様性を世界に発信するため、SDGsとカーボンニュートラルをキーワードとして、未来の社会で生きる自分をイメージし、自分らしい価値観や生き甲斐を発見・再認識してもらえる展示をめざすべく、大阪・関西万博に向けて企業との共同開発を加速し、各企業の成果を全世界に広く発信します。
明日が楽しくなる町「スマートヘルスケアタウン」プロジェクト
①公益財団法人大阪産業局
②REBORN・ヘルスケア
③大阪ヘルスケアパビリオンのメインテーマであるヘルスケア分野において、大阪府内のスタートアップが開発するイノベティブな製品・サービスの展示を行い、来場者に体験してもらうことで、人々の「いのち」と「健康」を守り、誰もが楽しく安心して生活できる未来の暮らしを提案します。
ウェルネスを実現するテクノロジーと空間 ～カラダ（フィジカル）の健康と美容を実現するオフィス～
①大阪商工会議所
②ヘルスケア・ライフスタイル・その他（Well-being、インクルーシブ、アンチエイジング、フェムテック、美容）
③未来のウェルネスのモデルを発信するため、一般社団法人日本オフィス家具協会等と連携し、ワークプレイスにおいて、簡単にカラダの状態を確認でき、無理なく運動不足の解消や体調変化への気付きにつながるほか、筋力・運動機能の向上や美容効果が期待できるプロダクト・サービスを展示します。出展予定者に対しては、会期前からコンサルティングやビジネスマッチング、PR等の事業化支援をし、国際的プレゼンスを向上させるとともに、会期後にもビジネス化を後押しします。
ウェルネスを実現するテクノロジーと空間 ～ココロとアタマの健康を目指したオフィス～
①大阪商工会議所
②ヘルスケア・ライフスタイル・その他（Well-being、オフィス、メンタルヘルス、インクルーシブ）
③未来のウェルネスのモデルを発信するため、一般社団法人日本オフィス家具協会等と連携し、ワークプレイスにおいて、メンタルや脳の状態が意識されることなくセンシング・モニタリングできるほか、検知

<p>した情報に基づき、個人が最適化された体験を享受できるプロダクト・サービスを展示します。出展予定者に対しては、会期前からコンサルティングやビジネスマッチング、PR等の事業化支援をし、国際的プレゼンスを向上させるとともに、会期後にもビジネス化を後押しします。</p>
<p>大阪発！ワクワクする未来の暮らし ～世界一おもしろい都市をめざして～</p>
<p>①株式会社 池田泉州銀行 ②REBORN・ライフスタイル・その他（コミュニケーション） ③明るく楽しい未来を創造する企業家たちによる大阪の未来予想図を表現し、大阪から「ワクワク」と「おもしろい」を世界へ発信します。多様化する生活者のニーズに寄り添った高品質な製品やサービスの開発を行っている企業の技術を用いて、未来の大阪での暮らしを、「交流」や「対話」を軸に表現し、来場者が思わずワクワクし笑顔になるコンテンツを展開します。</p>
<p>カーボンニュートラル トレジャーハント～ 便利な未来を支える技術たち ～</p>
<p>①公益財団法人大阪産業局 ②REBORN・環境 ③環境への配慮がなされ、カーボンニュートラルの実現に貢献する大阪府内のスタートアップが提供する製品の展示・来場者へ体験を通じ、地球温暖化など環境に関する問題への意識への気づきや、自身ができる行動変容の促しにつながる展示をめざします。</p>
<p>観光の新規事業の実験場 ～観光産業から、関西を元気に～</p>
<p>①一般社団法人関西イノベーションセンター（施設名：MUIC kansai） ②REBORN・SDGs・その他（インバウンド・観光産業、またそこから派生する様々なテーマ） ③社会課題を起点とした観光産業、またそこから派生する様々なテーマの活性化をめざし、実証実験を重ね、2025年の大阪・関西万博までに社会実装をめざします。スタートアップの技術・アイデアの紹介だけでなく、社会実装を経て「何が変わったか」を体験してもらう場とし、様々な国・世代の方の目に触れることで、地域経済の活性化に繋がる「きっかけ」とします。</p>
<p>幸福寿命の実現を目指して</p>
<p>①一般社団法人大阪府経営合理化協会 ②SDGs・デジタル・ライフスタイル ③誰もが願う穏やかで笑いの絶えない幸せな人生の実現には、支え合う人々・経験・技術が大きな力となります。本企画では、AIやメタバースというIT技術を活用した幸福寿命の実現、幸福寿命実現のハードルを乗り越える衣・食・住の最新技術の展示をめざします。</p>
<p>サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト</p>
<p>①大阪商工会議所【協同組合関西ファッション連合】 ②SDGs・デジタル・ライフスタイル ③大阪の繊維・ファッション産業の「協業」の精神を受け継ぎ、繊維に関わる大阪の中小企業が交流、協力することで、「リボン」を実行し新たな製品を生み出すことをめざします。そして、その成果を大阪・関西万博において「過去」から「未来」につながるサステナブルな取り組みとして広く社会に伝えていきます。</p>
<p>Series A；セレクション ～輝く未来社会の創り手ここにあり～</p>
<p>①大阪商工会議所 ②デジタル・ライフスタイル・環境</p>

<p>③大阪商工会議所が展開している支援事業を複数分野（①グリーンテック（GX）、②SDGs/ESG、③XR(AR,VR,メタバース,デジタルツイン)、④AI（人工知能）、⑤MaaS、⑥ライフスタイル（ドローン、自動運転など））に分類し、おもに「B2C」事業を中心とする中小企業・スタートアップによる「見て、触れて、楽しんで」もらえる実商品を大阪・関西万博において提供することをめざします。</p>
<p>少し先の未来生活を支える「縁の下（E-N-NO-SHI-TA）」ものづくり企業たち</p>
<p>①地方独立行政法人大阪産業技術研究所 ※以下、「大阪技術研」という</p> <p>②SDGs・ライフスタイル・環境</p> <p>③大阪技術研の技術支援メニューを活用して達成した製品化事例を展示し、大阪の中小企業の技術力を世界に発信します。大阪技術研では、約100年間に渡り中小・スタートアップ企業を始めとする多く企業の多岐に渡る技術分野を支援してきました。その中で、製品化や技術力の向上を達成した企業を「少し先の未来生活を支える製品・技術」と表現し、ご来場の皆さまに大阪が誇る世界を支える技術力を感じ取っていただければと思います。</p>
<p>Start×Reborn×Local ～大阪がミライをかえる3つのWAY～</p>
<p>①株式会社 三菱UFJ銀行</p> <p>②REBORN・SDGs・ライフスタイル</p> <p>③「オーディション等を通じて、大阪・関西のスタートアップ企業を世界へ発信」、「伝統企業から成長企業への「転身・変革」チャレンジの応援」、「先進的な官民連携で自治体課題（＝社会課題）を解決する取組みの紹介」などを通じて、大阪のスタートアップ企業を盛り上げます。大阪・関西万博では、来場者が見て、触れて、楽しめる「体感型」の出展をめざします。</p>
<p>共に創ろう、ヒトとモノとデジタルの未来～デジタル技術で変わる、大阪のモノづくり～</p>
<p>①株式会社 池田泉州銀行</p> <p>②REBORN・デジタル・環境</p> <p>③Society5.0における未来の「モノづくり現場」を体感してもらえる空間を創出します。デジタル技術を活用して、変化を続ける産業界のなかでも、製造業にフォーカスを当て、デジタルトランスフォーメーション（DX）を進める企業と、その技術を提供するスタートアップの取組みを「未来の製造現場」として表現し、来場者が未来の製造業のあり方を体感できるコンテンツの展開をめざします。</p>
<p>バイオプラスチックで REBORN</p>
<p>①一般社団法人西日本プラスチック製品工業協会</p> <p>②SDGs・ライフスタイル・環境</p> <p>③大阪・関西万博でバイオプラスチック製品を披露し、万博後のビジネス化にもつなげられるように、大阪に集積するプラスチック製品製造業の中小企業等とともに製品開発等に取り組みます。</p>
<p>パワースポット IN O S A K A 中小カンパニー</p>
<p>①大阪府中小企業団体中央会</p> <p>②REBORN・デジタル・その他（未来社会に貢献する大阪の中小企業の製品・技術）</p> <p>③大阪の中小企業による未来社会に向けた優れた製品や技術力、質の高いサービス、伝統工芸・文化や大阪の食文化の魅力を展示や体験を通して紹介します。また、リアル展示に加えてバーチャル技術を活用した展示方法により、来場者が空間の制約にとらわれずに様々な製品やコンテンツを体感し深く理解することを可能にし、大阪の中小企業の高いポテンシャルを世界に発信します。</p>

<p>まちこうばのエンターテイメント！～みせるばやおモデル～</p> <p>①八尾市</p> <p>②REBORN・デジタル・ライフスタイル</p> <p>③八尾市が「みせるばやお」のプラットフォームを活用し、ファクトリズムと連動する「まちこうばのエンターテイメント」を実施します。日本のものづくりを裏側から支えてきた八尾の企業の高い技術力を活かし、そのワザが可視化された空間で、感じた驚きや感動もまたデータ化されます。</p> <p>八尾のものづくり企業の未来のビジネススタイルを発見し、その瞬間・場所でしか味わえない体験価値が得られる展示をめざします。</p>
<p>身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！</p> <p>①大阪商工会議所【大阪信用金庫】</p> <p>②SDGs・ライフスタイル</p> <p>③SDGs、ライフスタイル等、様々な領域にわたる身近な課題やお困りごとを国内外から広く募集し、大阪の町工場の力を結集することで課題を解決し、市場性の高い試作品、製品を開発します。万博会期中は、来館者に実際に新製品を体験してもらいながら、大阪の町工場の実力と製品の有用性を発信し、万博後には市場への投入に向けて開発を継続し、出展企業の成長のきっかけとします。</p>
<p>未来の生活スタイル～スマートルーム～</p> <p>①大阪シティ信用金庫</p> <p>②SDGs・デジタル・ライフスタイル</p> <p>③未来社会の生活様式を感じることができる空間として、SDGsが達成された未来に実装される可能性のある商品等を企業が持ち寄り、来場者が「未来の生活スタイル」を想像・体感できるような展示・出展を行います。企業ひとつひとつの技術は、一般消費者の目に止まることは少ないが、トータル的なコーディネートを行うことで、来場者にも分かり易い、見応えのある展示をめざします。</p>
<p>みんなで描こう、誰もが暮らしやすい社会 ～未来の生き方・働き方～</p> <p>①株式会社 池田泉州銀行</p> <p>②ヘルスケア・SDGs・ライフスタイル</p> <p>③「ウェルビーイング (Well-being)」の実現に向けて活動する企業が思い描く少し先の未来を楽しく体験してもらえる空間を創出します。ジェンダー問題や従業員の健康維持など、生き方・働き方に関する社会課題解決のために活躍する企業の技術やサービスを用い、「誰もが生きやすい近未来の社会や職場」を表現し、未来のライフスタイルを体感してもらうことで、来場者のより充実した人生に繋がるきっかけとなることをめざします。</p>
<p>みんなで考える未来の街プロジェクト</p> <p>①公益財団法人大阪産業局</p> <p>②REBORN・その他 (スマートシティ)</p> <p>③大阪・関西万博の先にスーパーシティを見据えた大阪らしく、「未来の街」をテーマに、移動や観光、ヘルスケアなどスマートシティ関連の製品・サービスをコンテンツに展開し、リアルとバーチャルを融合させ、「みんなで未来の街について考える」という共創の場を提案します。2023年度から開催される咲洲の産学官連携による大阪・関西万博の機運醸成プログラム「咲洲プレ万博」と連携しながら、企業のプロダクトの完成度の向上等の支援を実施します。</p>

<p>MOBIO 大阪パビリオン展示 No/BORdER 国境・垣根・時代・カベを越える技術展</p> <p>①公益財団法人大阪産業局</p> <p>②REBORN・その他（ものづくり）</p> <p>③『REBORN / do ▶ No / BORdER リボーンの実行でボーダーを越える！』</p> <p>「国境」、「垣根」、「時代」、「限界（カベ）」を越えた、大阪府内ものづくり中小企業の製品・技術の展示を行います。製品・技術のブラッシュアップとプロモーション方法（見せ方）に絞った支援を行いながら、大阪・関西万博では、大阪のものづくりの歴史やものづくり体験ゾーンを展示し、幅広い層への集客を図ることをめざします。</p>
<p>Rethink まちからはじまる、脱炭素への取り組み まちと社会、これからの暮らし</p> <p>①大阪商工信用金庫</p> <p>②REBORN・SDGs・環境</p> <p>③持続可能な社会の実現に向けた、最重要事項のひとつである“脱炭素”にテーマを絞ることで、来場者にも分かりやすく関心高く、参加支援企業の多様な取り組みに触れていただくことをめざします。大阪の中小企業・スタートアップにおける、脱炭素事業への参加支援を行いながら、その土壌となる大阪のまちとしての魅力や活気を感じてもらえるような構造を伝えます。</p>
<p>りそなグループ ~春~【ライフサイエンス・ヘルスケア領域】 パーソナルデータに基づく健康へのアプローチ ※春夏秋冬順</p> <p>①株式会社 りそな銀行【株式会社埼玉りそな銀行、株式会社関西みらい銀行、株式会社みなと銀行】</p> <p>②REBORN・ヘルスケア・その他（ライフサイエンス）</p> <p>③「未病フェーズから健康に取り組めるパーソナルな仕掛け」をテーマに、健康なうちから自身の身体について興味を持っていただき、健康への関心を高めるような仕掛けを作り上げます。</p> <p>また、本企画を通じて、ライフサイエンス・ヘルスケア分野の強み・技術を体感できる展示をめざします。</p>
<p>りそなグループ ~夏~【SX／環境・エネルギー領域】 新しいエネルギーシステムや環境配慮商品によるサステナブルな未来 ※春夏秋冬順</p> <p>①株式会社 りそな銀行【株式会社埼玉りそな銀行、株式会社関西みらい銀行、株式会社みなと銀行】</p> <p>②SDGs・環境・その他（エネルギー）</p> <p>③「どこの国でも使え、誰もが使ってみたくなるエネルギーシステムや環境配慮商品の体験」をテーマに、未来のエネルギーシステムに触れることで、今後の生活のなかでのエネルギーについて考え、行動するきっかけとします。また、本企画を通じて、日本が世界の SDGs をリードする姿を感じられる展示をめざします。</p>
<p>りそなグループ ~秋~【フード・ライフ／デザイン・アート領域】 日本の伝統産業や食文化、ものづくりの根底にあるデザイン・アート ※春夏秋冬順</p> <p>①株式会社 りそな銀行【株式会社埼玉りそな銀行、株式会社関西みらい銀行、株式会社みなと銀行】</p> <p>②ライフスタイル・その他（伝統産業・食文化）・その他（デザイン・アート）</p> <p>③「工芸品からデザインを感じる、職人体験を通じた関係人口づくり」をテーマに、日本の伝統産業や食文化、ものづくりの根底にあるデザインを知ること、自身との繋がりをより身近に感じてもらうような展示をめざします。また、本企画を通じて、伝統産業やデザインへの関心をより高められるような展示を創り上げます。</p>

りそなグループ ~冬~ 【DX/デジタル・データ/ものづくり領域】ものづくりの力と未来を感じさせる
最新技術の融合からわくわくする時代への思いを馳せる ※春夏秋冬順

①株式会社 りそな銀行【株式会社埼玉りそな銀行、株式会社関西みらい銀行、株式会社みなと銀行】

②デジタル・その他（ものづくり）・その他（未来のテクノロジー）

③「最新技術や映像を組み合わせたオープンファクトリー体験」をテーマに、ものづくり技術の多様さと最先端の技術を駆使し来場者に未来への想像力を働かせる展示にします。また、本企画を通じて日本のものづくりの技術を発信するとともに、未来社会への気付きを得られる場とします。

2025年 大阪・関西万博

大阪ヘルスケアパビリオン 「展示・出展ゾーン」の概要

主催：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会
企画・運営：中小・スタートアップ出展企画推進委員会

 公財団法人
大阪産業局
OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

 The Osaka Chamber of Commerce and Industry
大阪商工会議所

※記載のスケジュールは当計画策定時における想定を記載したもので、予告なく変更されることがあります。

(2025年日本国際博覧会基本計画より)

■名称

2025年日本国際博覧会 / (略称「大阪・関西万博」)

■開催期間 2025年4月13日(日曜日)～ 10月13日(月曜日) 184日間

■開催場所 夢洲(大阪市臨海部)

■来場者数(想定) 約2,820万人



提供：2025年日本国際博覧会協会

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”

コンセプト

-People's Living Lab- 未来社会の実験場

- 展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- 万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
- 人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。





大阪ヘルスケアパビリオン出展基本計画の概要

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画より)

■ 出展参加でめざすもの

- ▶ オール大阪の知恵とアイデアを結集し、「いのち」や「健康」の観点から未来社会の新たな価値を創造するとともに、大阪の活力、魅力を世界の人々に伝えていく
- ▶ 世界の先頭にとってSDGsの達成に貢献するため、「SDGs先進都市」の姿を明確にし、SDGs達成目標の2030年以降を見据えた取組みを世界に発信する

世界に貢献する大阪の姿を示す

- ▷ 生活の質（QOL）を向上させる展示
- ▷ SDGs達成に貢献する姿を示す
- ▷ 未来社会のモデルを提案

大阪のパワーを世界に発信

- ▷ 世界中からのアクセスを実現
- ▷ 大阪の魅力を世界に発信

■ 出展参加の主体

～ 産学官民の力を結集と府民・市民の参画～

産業界・企業の力
(大企業・中小企業・経済団体など)

教育・研究機関の力
(大学・医療機関など)

自治体の力
(大阪府市、市町村)

府民・市民の力
(府民・市民・NPOなど)

■ 出展参加のテーマ

【テーマに込めた意味】

“「人」は生まれ変わる”

すべての「人」が自分らしい生き方を改めて見つめ直すことで 自分自身の価値観や生きがいの発見・再認識、自己実現への意欲・意識の変革を促し、新たな自分への「生まれ変わり」に貢献する取組みを展開する

“ 新たな一歩を踏み出す”

一人ひとりの意欲・意識の変革が具体的な行動変容へとつながり、より良い生活環境、暮らしやすい社会づくりに貢献し、「いのち輝く未来社会」に新たな一歩を踏み出すきっかけとなる

REBORN

 (リボーン)

大阪ヘルスケアパビリオン出展基本計画の推進体制

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画より)

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 (2021.2.16~)

- ◇会長 大阪府知事
- ◇会長代行 大阪市長
- ◇顧問 関西経済連合会会長 大阪商工会議所会頭 関西経済同友会代表幹事

総合プロデューサー
大阪大学 森下 竜一 教授

スーパーバイザー

- ◇公立大学法人大阪 西澤 良記 理事長
- ◇大阪府立大学 橋爪 紳也 教授
- ◇つんく♂氏
- ◇国立循環器病研究センター 大津 欣也 理事長
- ◇大阪府立病院機構 遠山 正彌 理事長
- ◇(株)日本総合研究所 東 博暢 氏
- ◇(公財)大阪産業局 藤田 正樹 理事
- ◇(公財)大阪観光局 溝畑 宏 理事長

WGの運営

ヘルスケア 先端予防ドック	未来の病院 先端医療展示	食・レストラン	バーチャル・ バーチャル大阪パビリオン	プラットフォーム データ基盤	デジタル通貨	建 築	イベント・催事	展示・出展ゾーン
ディレクター 近畿大学 山田 秀和 教授	ディレクター 大阪大学 富田 哲也 准教授	ディレクター 大阪府立大学 増田 昇 名誉教授	ディレクター 大阪大学 佐久間 洋司 氏	-	-	受託事業者を 中心に 企画立案	受託事業者を 中心に 企画立案	大阪産業局・ 大阪商工会議所を 中心に 中小企業や スタートアップ企業 の展示・出展を 取りまとめ
アドバイザー	アドバイザー	アドバイザー	アドバイザー	アドバイザー	アドバイザー			
委員会参画企業	委員会参画企業	委員会参画企業	委員会参画企業	委員会参画企業	委員会参画企業			

※エキスパートを置いて、SDGs・建築の観点から専門的なアドバイスをいただく。



大阪ヘルスケアパビリオン建築基本計画の概要

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会総会資料より)

大阪の新たな成長を発信するランドマーク

大阪はネットワークの重要な拠点として、内外から多くの人やものを受け入れ、多様な個性が集まり影響し合って発展してきました。大阪のパワーを世界に発信するパビリオンとして、多様な屋根の集まりを「水」と「木」で構成し、新たなランドマークを創出します。

有機的につながる、ひとつながりの回遊性

平面計画は、楕円の平面が有機的に重なり合う構成とし、各展示エリアをゆるやかなスロープによって連続させ、ひとつながりの回遊性を生み出すなど、ユニバーサルデザインを積極的に進めます。楕円はたまご、らせん階段はDNAから着想しています。

自然を感じる環境共生建築

屋根のトラス材などに積極的に木を活用した木とスチールのハイブリッド建築とするなど、脱炭素社会の実現に向けた建築を提案します。

屋根からは自然光がこぼれ落ち、頂部から風を抜くことで、建物内にいながらも風を感じることができます。水が屋根を流れ、アトリウムは、水の中のような幻想的な空間とし、光、風、水に包まれた環境共生建築を体験することができます。



東エントランス側より



(提供 2025年日本国際博覧会協会)



大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」の推進体制

2025年大阪・関西万博における大阪ヘルスケアパビリオンの「展示・出展ゾーン」は、中小企業・スタートアップの技術力、魅力を発信する場として、公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所が、共同で企画・運営を担う。

両団体では、「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」(委員長:立野純三・公益財団法人大阪産業局理事長、大阪商工会議所副会頭)を設置し、大阪府、大阪市とも協力して検討を進める。

両団体では、優れた中小企業・スタートアップを発掘・支援し、大阪パビリオンでその象徴的な成果、活躍を効果的に発信できるように、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた取り組みを企画・推進する。

「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」

設置目的

万博開催を契機として、公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所が共同して、その期間の前と後、バーチャルとリアル、会場の内と外を問わず、優れた中小企業・スタートアップを発掘・支援しつつ、大阪ヘルスケアパビリオンにおいては、その象徴的な成果、活躍を効果的に発信する取り組みを企画・推進すること。

委員構成

【委員長】 公益財団法人大阪産業局理事長、大阪商工会議所副会頭
【副委員長】 公益財団法人大阪産業局 専務理事
大阪商工会議所 常務理事・事務局長
【委員】 大阪府商工労働部商工労働総務課 参事
大阪市経済戦略局企業支援課長

委員会内WG

「展示・出展ゾーン」の企画・運営に関すること等の円滑な遂行を図るため、委員会にWG(部会)を設置する。WGの構成員は大阪産業局、大阪商工会議所の職員で構成する。

大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」の概要

- 大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」では、優れた大阪の中小企業・スタートアップを発掘・支援し、その象徴的な成果、活躍を効果的に発信し、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた一連の取組を通じて、更なる大阪の中小企業・スタートアップの成長・発展、イノベーションの好循環に繋げる。
- 公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所が共同で設置する「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」(委員長=立野純三・大阪産業局理事長、本会議所副会頭)が企画・運営を担う。
- 多くの中小企業・スタートアップが出展できるように、毎週、展示企業を入れ替える形で運営予定。出展を希望する中小企業・スタートアップは、リボンチャレンジ実施主体から支援を受け、同ゾーンへの出展をめざす。
- 令和5(2023)年1月以降、各リボンチャレンジ実施主体では中小企業・スタートアップの募集を順次、開始する予定。



2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会事務局から提供



大阪ヘルスケアパビリオンの全体スケジュール

(2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画より)

- 大阪パビリオンは2022年3月までに「出展基本計画」を策定し、2022年4月より実施に向けた設計・製作及び運営計画を進めていく。
- 建築は、2023年4月の工事着工、2024年10月の竣工をめざす。

